

タイトル	<i>Grandfather's Journey</i>				
著者（文・絵）	Allen Say				
出版年	1993 年	出版社	Houghton Mifflin Company		
翻訳版	『おじいさんの旅』大島英美訳、ほるぷ出版、2002 年				
総語数	569 語	ページ数	32 ページ	YL レベル	0.6
あらすじ					
<p>戦前生まれの日本人の物語です。一人の若者が船でアメリカを目指しました。広大な大陸の自然、さまざまな人種の人たち、青年の目に映るものすべてが新鮮です。新天地での生活にも慣れた頃、青年は一端帰国し、幼なじみの女性と結婚します。その後、花嫁を連れて再び太平洋を渡り、サンフランシスコで新生活を始めます。やがて、ふたりの間には女の子が生まれ、親子三人で幸せな暮らしを送っていましたが、生まれ故郷への想いは募るばかりです。そこで、家族で帰国し、懐かしい家族や友人と田舎で穏やかに暮らしますが、アメリカの大都市生まれの娘にとってそれは、「異国の暮らし」に加え「田舎の暮らし」で居心地が良いものではありません。父母は娘のために都会に引っ越し、その地で娘は結婚して作者である「私」が生まれました。</p> <p>祖父はアメリカでの生活を懐かしみ、若い頃の思い出話を「私」にしてくれます。私自身も成長すると、そんな祖父の人生を追うようにアメリカへ移住します。</p> <p>“The funny thing is, the moment I am in one country, I am homesick for the other. I think I know my grandfather now. I miss him very much.”</p> <p>思いは世代を超えて伝えられます。</p>					
紹介					
<p><i>Tree of Cranes, Tea with Milk</i> と共に <i>Grandfather's Journey</i> は、横浜生まれの作者 Allen Say (1939～) の自伝的な家族の物語です。<i>Grandfather's Journey</i> は、アメリカで出版されると大きな反響を呼びました。ある日系人家族の物語は、移民の国アメリカで普遍的な物語として受け入れられ、コールデコット賞を受賞しました。教材としても広く使われています。</p> <p>本作品は、波乱にとんだ「おじいさん」の人生を、静謐で美しい水彩画が淡々と描写しており、その対比が大変に印象的です。まるで、昔の家族アルバムをめくっている感覚にとらわれます。おじいさんは日本とアメリカ、田舎と都市と、異空間と異文化を行き来し、自分の国である日本と第二の故郷アメリカが戦うという葛藤も経験します。そのような心の揺れ動きに反して、おじいさんと家族の表情は静止画のように動きがなく、無表情に見えます。おじいさんたちが直面した問題や混乱は描かれていません。この描写様式が、感情を表に出さないと言われ誤解されがちな日本人像を連想させますが、それが、か</p>					

えって無表情な顔の裏に隠れた登場人物の複雑な思いを汲み取ることを読み手に求めます。

かつて、アメリカをはじめ新天地を目指した人々が、どのような人生を送ったかを知る者には、激動の時代を生き抜いたおじいさんの気持ちを推し量ることができますが、若い世代の読者（学生）にとっては、その背景知識がないために肌感覚を持ってリアルな物語として接することは難しいかもしれません。SNS で地球の裏側とも瞬時に話すことができる時代、外国に行くには船旅で何ヶ月かかったことさえ知らない人も多いでしょう。

一方で、読者の中には、祖父母や両親、あるいはご自身が地方にルーツを持ち、都会に移り住んで「異文化」を経験した人も多いはずで、それをきっかけに、Say が大切にもち続けている「思い」を感じとることが出来るのではないのでしょうか。この物語を読むことで個人のアイデンティティとは単純なものではなく、複雑かつ豊かなものと実感されます。きっと読者の皆さんも、自分を見つめ直し、祖父母を含めた自分に影響を与えた人々の物語を知りたくなることでしょう。

近年、日本では都会に限らず地方でも「海外から移住した人々」＝「異なる文化背景」を持つ人々が増えています。この本が、そのような隣人に関心や思いを寄せるきっかけになれば嬉しいことです。

指導ポイント・授業活用例・学生の声など

【指導ポイント】

感情を表す動詞 astonish, amaze, remind, bewilder, excite, marvel

the 比較級, the 比較級「～すればするほど、ますます～だ」

The more he traveled, the more he longed to see new places, and never thought of returning home.

【授業活用例】

- ・作者の生い立ちを調べるリサーチ
 - ・物語の背景を探るリサーチ
 - ・日本から新世界に旅立った移民の歴史や回想録を調べて口頭発表をする。
 - ・海外に移民した人々の子孫（日系人）が日本に移民した例を調べて口頭発表する。
 - ・日本に住む外国籍の人にインタビューする。
 - ・自分の家族を知るリサーチ
 - ・自分の家系図をつくる。
 - ・祖父母など、親族にインタビューする。
 - ・物語の創作
 - ・古い写真からインスピレーションを得て、家族の物語を書く。
- ※移民に加えて難民について学ぶのもよいでしょう。

関連作品・参考 URL

- ・ JICA 横浜 海外資料館 <https://www.jica.go.jp/jomm/>
- ・ UNHCR 日本 https://www.unhcr.org/jp/what_is_refugee
- ・ 難民支援協会 <https://www.refugee.or.jp/refugee/>
- ・ 出版社による作家紹介ページがあります。
<http://www.houghtonmifflinbooks.com/authors/allensay/author.shtml> (作家情報)
<http://www.houghtonmifflinbooks.com/authors/allensay/bookshelf.shtml> (作品一覧)
<http://www.houghtonmifflinbooks.com/authors/allensay/articlespeech.shtml> (コールデコット賞受賞スピーチ原稿)
<https://www.pbs.org/video/oregon-art-beat-illustrator-and-author-allen-say/> (Say が自身の生い立ちについて語るインタビュー)

備考

本稿の一部は大修館『英語教育』2019年11月号 (Vol.68, No.9) の口絵「絵本を探しに」[8]の原稿を大幅に改訂したものです。

(文責：草薙優加)